



### INFORMATION

## リニューアルしました!



「早稲田コーナー」

ココ!  
しばらく休眠状態だった「早稲田コーナー」をリニューアルしました。最新のキャンパス情報をお届けします。閲覧室に入る前に立ち寄ってみてくださいね。



「新着新書コーナー」

雑誌コーナーの右側面には新しく入った新書のコーナーを設置しました。新聞書評もあわせて紹介しています。新書はひとつのテーマを知るには最適。短時間で読めて、体系的に理解できます。

## リクエスト ありがとうございました!

文化祭古本市の収益金で今年もたくさんのリクエスト本が購入できました。「ハイキュー33～」や「ドラゴン桜」「りゅうおうのおしごと」等々。詳しくは「新着案内」でお知らせしますね。

まだ間に合います!

### ☆英語多読キャンペーン☆

【期間: 10/1～11/30】

## 多読リーディングマラソン 4219語を読み切ろう!



読み切って「Milky Way」を  
getしよう!

## 「もしものときに…」

いざというときどうする?  
次はいつ?どこ?  
この機会に災害について  
考えてみよう!



### ●防災マニュアル



#### 『もしときサバイバル術 Jr.』

片山 誠/太郎次郎社エディタス  
「もし」災害にあった「とき」どうする? なにができる? もしものときを生き抜くスキルとマインドを身につける。自分を守り、だれかを助ける8つのプログラム。72時間サバイバル公式テキスト。



#### 『自衛隊防災BOOK 2』

自衛隊・防衛省(協力)/マガジンハウス  
大雨、地震、火事、強風、大雪など、日本の災害に備えるライフハックを、分かりやすいイラストと写真で、誰でもちゃんと覚えて、実行できます。まさに、防災備品ならぬ、防災備“本”! パワーアップした、第2弾の登場。



#### 『この方法で生きのびろ!』

ジョシュア・ペイヴン/草思社  
車ごと海に飛び込んでしまったら。毒ヘビに噛まれてしまったら…。40の危機についての具体的な対処法を各界の専門家がわかりやすく伝授する。全米でミリオンセラーを記録した、ちょっと笑えるサバイバル本。

### ★ほかにもマニュアル本多数!

#### 『自衛隊防災BOOK』

自衛隊・防衛省(協力)/マガジンハウス  
災害時や日常生活に役立つ100のテクニックを収録。30万部突破のベストセラー。

#### 『必携 救急・災害ハンドブック』

山本 保博(監修)/池田書店  
『この方法で生きのびろ! 旅先サバイバル編』

ジョシュア・ペイヴン/草思社  
旅行先で出くわす危機的状況の対処法を図入りで詳解。

#### 『サイエンスコナン 防災の不思議』

川村 康文(監修)/小学館  
コナンとともに防災の知識を身につけよう!

### ●実際は?



『生き残る判断 生き残れない行動』アマンダ・リプリー/ちくま文庫  
テロ、自然災害、飛行機事故……。命が脅かされる状況で人間の体にかかる変化と“その時”への備えを、生存者の証言と科学者の研究から解き明かす。



『震災が起きた後で死なないために』野口 健/PHP 研究所  
日本の避難所はソマリア以下!? 熊本大地震、東日本大震災などでの支援を通して見えてきた、「生命を守る」ために知っておくべきこと。避難生活で命を落とす人も続出する状況に、日頃からいかに備え、「生きのびる力」を養い高めるか。テント村を運営する中での教訓や感動の物語。

『人が死なない防災』片岡 敏孝/集英社新書  
危機管理アドバイザーを務めてきた著者が、主体的な避難行動を可能にした「防災教育」のノウハウを余すところなく公開するとともに、いつ災害に襲われるかわからない私たちすべてが知っておかなくてはならない「生き残るための指針」を提起する。

### ●災害のメカニズム

#### 『絵でわかる日本列島の地震・噴火・異常気象』

藤岡 達也/講談社  
日本列島で発生する種々の自然災害について、そのもとになる自然現象の特色や発生のメカニズムを、図やイラストを豊富に使ってわかりやすく解説する。日本における自然災害の歴史も紹介。



『次の超巨大地震はどこか?』神沼 克伊/サイエンスアイ新書  
日本が地震大国であり、明日にも東日本大震災と同等、もしくはそれ以上の巨大災害に襲われる可能性がある。しかしただ待つのではなく、過去のデータを検証し、「いつ起きてもおかしくはない」と心の準備だけはしておきたい。そこで本書では日本各地の過去の地震記録を掘り起こし、危機意識向上のために役立つ地震の情報を提供していく。



『日本の地震地図 決定新版』岡田 義光/東京書籍  
熊本地震・北海道胆振東部地震・大阪府北部地震・南海トラフ地震ほか。どこで起こるのか。いつ起こるのか。何が起こるのか。活断層・地震データ・地震予測など、地域別最新情報決定版。

『地震・火山の事典』勝又 護/東京堂出版  
地震・津波・火山の姿を、わかりやすく解説。

### ●歴史から考える

#### 『古地図が語る大災害: 絵図・瓦版で読み解く大震災・津波・大火の記憶』

本渡 章/創元社  
古代から近代までの古地図・瓦版等を題材に、歴史上繰り返されてきた大災害の記録を読み解き、人の営みと教訓に学ぶ。大災害を生き延びた人々が書き残してきたメッセージ。

#### 『天災から日本史を読みなおす』

磯田 道史/中公新書  
豊臣政権を揺るがした二度の大地震、一七〇七年の宝永地震が招いた富士山噴火、佐賀藩を「軍事大国」に変えた台風、森繁久彌が遭遇した大津波。史料に残された「災い」の記録をひもとくと、「もう一つの日本史」が見えてくる。



『地震の社会史』北原 糸子/講談社学術文庫  
1855年、震度6の地震が江戸を襲った。安政大地震である。明日を見失った被災民は、生へ向う意志と復興への願いをこめて、地震鯨絵やかわら版に熱狂する。これら民衆のメッセージは、時空を越えて現代のわれわれにも何かを訴えかけているに違いない。残された資料の中に災害史の新しい可能性を探る。

11月の特集コーナー(閲覧室中央)には、他にも多数の災害関連本を展示しています。色々な方向から、この機会に災害について考えてみよう!



表紙画像は出版社の許可を得て転載しています。